

工学リテラシーII -事業戦略と知的財産- (3799-150:1 単位) 修士・博士対象

概要:

高い専門性は持ちつつ、リーダーシップ、課題設定・解決・遂行力、責任感・使命感、高いコミュニケーション能力、情報・倫理等に優れた能力を涵養し、複合領域で柔軟な応用力を持つことを目指した教育プログラムの一環として実施する。イノベーション、技術マネジメント、リーダーシップ、事業戦略、知的財産管理、倫理などをキーワードとし、産業界等の第一線でご活躍されている講師による講演。

講義スケジュール: 14:55-16:40 場所:工学部 2号館 223号講義室

日時	講師	講義内容
9月29日(木)	横野 泰之 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	ガイダンス
10月6日(木)	佐藤 順一 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー	企業における研究と開発:科学技術人材の役割
10月13日(木)	稲塚 徹 ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長	イノベーションプロセスにおいて開発リーダーに求めること
10月20日(木)	岡島 博司 トヨタ自動車株式会社 先進技術統括部 主査	産業構造の変革に対応した研究開発マネジメントとは
11月24日(木)	ゾマホン D.C. ルフィン 駐日ベナン共和国大使館 特命全権大使	真の国際人とは ~日本人の役割~
12月1日(木)	三尾 美枝子 東京大学 産学協創推進本部 知的財産部長	イノベーション創出のための知的財産マネジメント
12月8日(木)	佐藤 文一 経済産業省大臣官房審議官(製造産業局担当)	経済産業省のイノベーション政策
12月15日(木)	加藤 晴洋 東京大学 産学協創推進本部 イノベーション推進部 特任研究員/NEC キャピタルソリューション株式会社 イノベティブ・ベンチャー・ファンド、パートナー	グローバル・アントレプレナーシップ

受講登録:

受講希望者は下記宛てに受講申し込みのこと。

講師や開催日時の変更を行う場合があります。HPをご確認下さい。

東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻

GMSI プログラム事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

工学部 2号館 2階 203号室

Tel/Fax 03-5841-7437(内線 27437)

E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp/>



企業における研究と開発: 科学技術人材の役割
R&D in Industries: Expected functions and activities of engineers

佐藤 順一
Jun'ichi Sato

国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
Principal Fellow, Center for Research and Development Strategy
Japan Science and Technology Agency

日時: 2016年10月6日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

企業が成長していくためには、企業独自の科学技術に関するイノベーションを絶え間なく推進していく必要がある。科学技術イノベーションにおいては、多くのエンジニアが科学と技術の違い、研究と開発の違いを意識せずに活動しているが、本来はこれらの違いを認識して活動しなくてはならない。企業が必要としている技術系幹部人材は、特定の課題や諸問題について、文献やデータなどを種々の方法で採集し、論理的に考察し解決できる能力を持ち、さらに環境や条件についての十分な理解のもとで、適切な機能を設計し実践できる人物である。さらに近年では、それらをグローバル化というキーワードで推進できる人物が求められている。本講演においては、これらについて述べ議論していく予定である。





イノベーションプロセスにおいて開発リーダーに求めること Requirements to the R&D Leader along an Innovation Process

稲塚 徹

Toru Inazuka

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長
Deputy General Manager, DAIKIN INDUSTRIES, LTD
Technology and Innovation Center

日時: 2016年10月13日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

イノベーションの創出には、無から有を生み出す「発想」の段階から、発想したアイデアを顧客が安心して使える商品・サービスへと具現化していく「仕上げ」の段階まで、長いプロセスがある。楽しくもあり辛くもあるが、開発リーダーには、そこに関係者の多様な知識、経験と、陰日向からの多大な努力が混然一体となって集うことを忘れてほしくない。そして、「発想」から「仕上げ」の段階へとプロセスを移行する際には、言わば「攻め」から「守り」への切れ味よい思考転換とリーダーシップとが求められる。ここで、「攻め」と「守り」の思考を激しく葛藤させればさせるほど、本当の意味での社会に役立つ新たな価値を生み出し、人々に大きな感動をもたらすことができる。このことを、弊社研究開発現場を事例にお話したい。





産業構造の変革に対応した研究開発マネジメントとは R&D management for change of industrial structure

岡島 博司

Hiroshi Okajima

トヨタ自動車株式会社 先進技術統括部 主査
Project General Manager, R&D and Engineering Management Div.,
Toyota Motor Corporation

日時: 2016年10月20日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

自動車業界はピラミッド型の産業構造をしており、長らく系列に基づいた垂直統合型の研究開発を行ってきた。また排気ガス規制や燃費規制対応など課題解決型の開発目標を達成することで、他社との競争を行ってきた。近年IT企業の参入やライドシェアなどビジネスモデルの変革、自動車産業を取り巻く環境が変わりつつある。特にコンピュータサイエンスや人工知能の発展には目覚ましいものがあり、自前主義に基づくモノ作りの改善だけでは競争力を発揮できなくなるであろう。新たなイノベーションを起こすためには新たなビジョンの設定と実現のための戦略が重要である。本セミナーでは幾つかの研究領域を例に取り上げビジョンの設定のあり方、研究のマネジメントを解説するとともに、最新の人工知能の活用における新たな取り組みについて紹介する。



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム(GMSI)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)
本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696



真の国際人とは ～日本人の役割～

What is a true global citizen -Role of Japanese people-

ゾマホン D.C. ルフィン

Zomahoun D.C. Rufin

駐日ベナン共和国大使館 特命全権大使
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
Embassy of the Republic of Benin to Japan

日時: 2016年11月24日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

情報社会の発展でボーダレス化が加速している昨今、国際紛争もまた、広がっています。

国際社会が直面している現状を見つめ、健全な国際関係を実現するには、我々はどのように行動すればよいのでしょうか。

コミュニケーションツールとしての言語習得と駆使は、確かに必要です。しかし、その前に、“国際人”になるためには、持っているべき素養があるはずです。

私の祖国ベナン共和国と、アフリカ諸国の歴史を通じて、真の国際人持つべき素養を考えたいと思います。

日本国には世界的にも誇るべき文化と歴史があります。そして、私が敬愛する日本国民の行動様式には、世界を救うヒントがあるのです。日本人が果たすべき役割とは何でしょうか？



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム(GMSI)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)
本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-0696



イノベーション創出のための知的財産マネジメント
Management of Intellectual Property for the Creation of Innovations

三尾 美枝子

Mieko Mio

東京大学産学協創推進本部 知的財産部 部長
General Manager, Office of Intellectual Property
Division of University Corporate Relations
The University of Tokyo

日時: 2016年12月1日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

大学に課せられた最大の使命は、教育と次世代のための研究であるが、昨今、さらなるイノベーションの創出のための技術シーズや優秀な研究人材の輩出等によって、社会に価値を提供し、社会や産業界との連携を深めることによって、大学経営の成功を実現していくことが求められている。そのためには、大学が自らが保有する研究成果(発明等の知的財産)を有効活用するべく、これらを有効にマネジメントすることが必要である。本講では、知的財産の管理、関連規則等の整備、契約内容などの検討・審査等といった産学協創推進本部、知的財産部の業務を紹介するとともに、より一層のイノベーション創出や技術シーズの有効活用のため、将来に向けた柔軟かつ有効な知的財産マネジメントのあり方を考える。





経済産業省のイノベーション政策
Innovation Policy of METI

佐藤 文一

Fumikazu SATO

経済産業省大臣官房審議官(製造産業局担当)
Deputy Director-General, Manufacturing Bureau,
Ministry of Economy, Trade and Industry

日 時: 2016年12月8日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

イノベーションは、単なる技術革新ではなく、新しい技術により新しい製品やサービスが市場に現れ、具体的な経済効果をもたらすことである。国では、基礎研究から実用開発まで様々な研究開発を行っているが、経済産業省は中でも特に、実用化を目指した研究開発を担い、更には知財の活用・保護や標準化の推進などを通じて、新しい製品・サービスを生み出すことを目指して、関連の技術政策を進めている。

本セミナーでは、経済産業省の最近の技術関連施策を概観するとともに、イノベーションを起こすためのシステムや人材について問題提起を行いたい。





グローバル・アントレプレナーシップ Global Entrepreneurship

加藤 晴洋

Harumi Kato

東京大学産学協創推進本部イノベーション推進部 特任研究員

Project Researcher, Office of Innovation and Entrepreneurship, The University of Tokyo

NECキャピタルソリューション株式会社 イノベティブ・ベンチャー・ファンド、パートナー

Innovative Venture Fund, Partner, NEC Capital Solutions Limited

日時: 2016年12月15日(木) 14:55-16:40

会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

今後の世界情勢を展望すると、グローバル性と起業家精神に基づく事業化活動は、日本(更には世界)の更なる経済的／社会的発展に寄与すると同時に、個人にとってもやりがいが多く、かつ大きなリワードを得る可能性のある取り組みである、と考えられる。その典型的な姿として、スタートアップ(ベンチャ)起業にフォーカスをあて、大企業における現実と対比しつつその際最小限理解が必要となる課題(イシュー)と成功のための必要条件を提示し、その理解の促進を図りたい。同時に、より多くの優秀な人材がベンチャ起業に興味を持ち、実際に人生における選択しとして、積極的にチャレンジしていく社会実現を目指し、動機付けにトライしたい。

